

1. 第3回国際シンポジウムの予告

第3回国際シンポジウムは、第6班の主催で、7月8日～9日に北大スラブ研究センターで行われる予定です。共通コンセプトは「ユーラシア地域大国におけるアジア・イメージ」です。目下、以下の6セッション（すべて仮題）を柱に、映像や音楽なども豊富に交えたシンポジウムを企画中です。「アジアの表象」「音楽における西と東」「宗教とイデオロギー」「国境を越える作家たち」「オリエンタリズムと美術」「場所の精神」。

プログラム・参加者は春先には確定するつもりです。皆様のご参加をお待ちします。[望月哲男]

国際シンポジウム翌日の7月10日（土）には全体集会在予定されています。本領域研究の方法論などをめぐって、これまでの共同研究で明らかにされたこと、今後の課題などについて議論する予定です。本領域研究のメンバーの方は、国際シンポジウムと併せてのご参加を予定ください。[田畑伸一郎]

2. 第2回国際シンポジウム開催される

2009年12月12～13日に新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」の第2回国際シンポジウムが予定通り開催されました。今回のシンポジウムは、地域大国の内政研究を担当する第2班を中心に組織されました。全体のテーマは「ユーラシア地域大国の比較政治：中国、ロシア、インド、トルコ」と題し、グローバル化、自由化、情報化などを背景として、地域大国における政治変化のダイナミズム、体制移行の実態、地方のガバナンスを明らかにし、同時に地域大国の政治比較の方法論を模索するものでした。基調講演とラウンドテーブルからなるパネル・ディスカッションと三つのセッションが用意されました。このシンポジウムの概要については、HP（第2班の「研究成果・活動報告」）をご覧ください。また、基調講演とラウンドテーブルについては、『比較地域大国論集』第3号に掲載されます。この『論集』は、年度内に出版することを目標に現在編集作業が行われています。[唐亮]

3. 国際ワークショップ「イスラームと帝国：思想、教育、移動性の複雑な連結」開催される

新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」の枠組みで、イスラームと帝国の諸問題に取り組む研究者間の対話を促進すべく、国際研究集会が1月23、24日に大阪で開催

されました。この研究会は、第5班「国家の輪郭と越境」（代表：山根聡）と第4班「帝国の崩壊・再編と世界システム」（代表：宇山智彦）の共同企画として組織されました。

従来、旧ソ連地域のイスラーム研究は、個々のエスニック集団がナショナリズムを発揮するに至る過程に注目しがちで、彼らのムスリムとしてのアイデンティティが国家との相互関係の中でこそ前景化するという事実を捉えきれていませんでした。その意味で、これまで対話が著しく困難だった他のイスラーム地域の専門家と一緒に、時代と地域に特殊な文脈を踏まえながらも、諸帝国統治下のムスリムが直面してきた共通の課題について、議論を深められたことは大変貴重でした。詳細については[新学術領域研究 HP](#)をご覧ください。

[長縄宣博]

4. 国際ワークショップ開催のお知らせ（4班・1班）

このワークショップは、第二次大戦後の1950～60年代における新たなアジア国際秩序の形成を、冷戦構造、脱植民地化、英米のヘゲモニーの移行の3つの観点から再考し、そのなかでユーラシアの地域大国が果たした歴史的役割を明らかにすることを目的としています。詳細は、下記の英文プログラムをご覧ください。使用言語は英語で、通訳はありません。参加には事前登録が必要です。できるだけ2月19日（金）までに、ご氏名・所属と懇親会の出欠を、[黛秋津宛](#)にお知らせください。

日時：2010年3月8日（月）13時～18時、9日（火）10時～15時

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム3

主催：新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」第4班・第1班

プログラム

“New International Order of Asia and Regional Powers in the 1950s and 1960s”

8th March 2010 (Mon.)

(1) 13:00-13:20

Welcome speech: Tomohiko Uyama (Hokkaido University, Japan)

‘Imperiology project and our research activities’

(2) 13:20-14:00

Introduction of WS: Shigeru Akita (Osaka University, Japan)

‘Formation of New International Order of Asia in the 1950s and 1960s: Decolonization, Cold War and Asian initiatives’

(3) 14:00-15:00

Aditya Mukherjee (Institute of Advanced Studies, JNU, India)

‘Nehru’s economic strategy in the global context of the 1950s and 1960s’ (tentative)

(4) 15:30-16:30

Mridula Mukherjee (JNU and Nehru Memorial Museum and Library, India)

‘How Nehru situated India in the Asian context in the 1950s and 1960s’ (tentative)

Comment: Takako Hirose (Senshu University)

(5) 16:30-17:30

Penny Von Eschen (University of Michigan, USA)

‘Reading U.S. Cold War Strategy through the History of Colonialism and Decolonization’

Comment: Hideki Kan (Seinan-Jo-Gakuin University)

(6) 17:30-18:00

General Discussion I

9th March 2010 (Tue.)

(7) 10:00-11:00

Niu Jun (University of Beijing, China)

‘The Transformation of PRC’s Diplomatic Policy in 1950 and Its Implication for East Asia’

Comments: Shin Kawashima (University of Tokyo), David Wolff (Hokkaido University)

(8) 11:00-12:00

Sergey Radchenko (Nottingham University, UK)

‘The Soviet Union, decolonization and the Cold War, 1945-1964’

Comment: David Wolff (Hokkaido University)

(9) 13:00-14:00

Asahiko Hanzawa (Meiji-Gakuin University, Japan)

‘The United Nations, the end of the British Empire and the rise of the Anglo-American “informal empire”’

Comment: Yoichi Kibata (Seijo University)

(10) 14:00-15:00

General Discussion II

5. 比較地域大国論集 No. 2 の刊行

昨年7月に行われた新学術領域研究第1回国際シンポジウムの報告集 *The Elusive Balance: Regional Powers and the Search for Sustainable Development* が、比較地域大国論集 (*Comparative Studies on Regional Powers*) No. 2 として、出版されました。国際シンポジウムで報告されたペーパーのうち、経済・環境関係の9本の論文が収録されています。これらの論文は、新学術領域研究 HP の「出版」のところからダウンロードすることもできます。また、事務局には残部が多少ありますので、紙媒体のものを希望する方は、事務局までご一報ください。

なお、同シンポジウムで報告された Shebonti Ray Dadwal 氏のペーパーと堀井伸浩氏のペーパーの一部は、*Eurasian Geography and Economics* 誌 (2009, Vol. 50, No. 6) に掲載されています。

6. 公開講座の開催予定

2010年度のスラブ研究センターの公開講座は、「地域大国比較の試み：ロシアを中国やインドと比べたら何が分かるか？」をテーマに、本領域研究の成果発表を意識して行われます。開講日と講師は次のようになっています。

5月10日(月)：田畑伸一郎(北海道大学スラブ研究センター)

5月14日(金)：山根聡(大阪大学世界言語研究センター)

5月17日(月)：伊藤融(防衛大学校国際関係学科)

5月21日(金)：佐藤隆広(神戸大学経済経営研究所)

5月24日(月)：武田雅哉(北海道大学大学院文学研究科)

5月28日(金)：田原史起(東京大学大学院総合文化研究科)

5月31日(月)：宇山智彦(北海道大学スラブ研究センター)

7. 今後の予定

2月27日(土) 地域紛争研究会第5回例会「スリランカ内戦—2002年停戦の崩壊から終戦へ」(於同志社大学)

- 3月1日(月) 国際ワークショップ「中国のガバナンス：新しい課題，新しい模索」(於早稲田大学)
- 3月8日(月)～9日(火) 新学術領域研究国際ワークショップ「アジアの新国際秩序と地域大国—1950-60年代—」(於東京大学)
- 3月9日(火) 地域大国論セミナー「ロシアにおける民主主義の不足：起源と未来」(於早稲田大学)
- 5月10日(月)～31日(月) 2010年度スラブ研究センター公開講座「地域大国比較の試み：ロシアを中国やインドと比べたら何が分かるか？」(於北海道大学)
- 6月5日(土)～6日(日) 比較経済体制学会2010年度全国大会(於大阪市立大学) 共通論題「世界経済におけるエマージング・エコノミー」
- 7月8日(木)～9日(金) 新学術領域研究第3回国際シンポジウム「ユーラシア諸国におけるアジア表象」(於北海道大学)
- 7月10日(土) 新学術領域研究全体集会(於北海道大学)
- 12月11日(土)～12日(日) 新学術領域研究第4回国際シンポジウム(於大阪大学)

8. 各班の研究会情報

第2班

国際ワークショップ「中国のガバナンス：新しい課題，新しい模索」

主催：早稲田大学現代中国研究所，新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」
政治班，東洋文庫

会場：早稲田大学9号館 現代中国研究所会議室

日時：2010年3月1日

言語：日本語と中国語(必要に応じて通訳する)

第1セッション 政治ガバナンスと制度改革

(10:00～12:15)

報告者

- 1) 三宅康之 愛知県立大学外国語大学准教授
「省管県」体制改革について

- 2) 周志忍 北京大学政府管理学院 教授
公共サービスの強化と行政制度改革：教育の例
- 3) 毛里和子 早稲田大学政治経済学術院教授
十字路に立つ中国の信訪制度：変わる社会と変わらぬ政治手法
- 司会者・討論者 高原明生 東京大学法学部教授

第2セッション：市民社会の模索：マスメディアとNGO

(1：15～3：30)

報告者

- 1) 師曾志 北京大学新聞与伝媒学院教授，公民社会研究中心執行主任
インターネットと市民社会の構築
- 2) 青山瑠妙 早稲田大学教育学部教授
公共の場としてのマスメディア：NGOによる怒江ダム建設の反対運動
- 3) 于建嵘 中国社会科学院農村發展研究所教授
中国における教会と政治：キリスト教家庭教会の例
- 司会者・討論者 菱田雅晴 法政大学法学部教授

第3セッション 中国式民主政治の模索

(3：45～6：00)

報告者

- 1) 加茂具樹 慶應義塾大学総合政策学部教授
擬似代議機関としての人民代表大会
- 2) 黄衛平 深圳大学教授，現代中国政治研究所所長
経済特別区深圳の政治改革の先行実験
- 3) 朱光磊 南開大学周恩来政府管理学院教授
地方政治発展の課題：停滞とイニシアチブ
- 司会者・討論者 唐 亮 早稲田大学政治経済学部教授

地域大国論セミナー「ロシアにおける民主主義の不足：起源と未来」

日時： 2010年3月9日（火）午前10時30分—12時

場所： 早稲田大学9号館 9階 917号室（新宿区西早稲田1-6-1）

報告者： グラム・ギル教授（シドニー大学）

言語： 英語

連絡先： [松里公孝](#)

公募研究（代表者：月村太郎）

地域紛争研究会第5回例会

日時：2010年2月27日（土）午後2時～5時

場所：同志社大学今出川キャンパス講武館105

報告者：松田哲（京都学園大学法学部）

報告題目：「スリランカ内戦—2002年停戦の崩壊から終戦へ」

*お手数ですが、参加人数の把握の為に、出席される方は事前に[月村](#)までメールにてご連絡下さい。

発行者：田畑伸一郎（領域代表者）

事務局：越野剛，後藤正憲，小原由美子

電話 011—706—4809

ファクス 011—706—4952

メール rp@slav.hokudai.ac.jp

H P <http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/rp/index.html>

住所 〒060—0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学スラブ研究センター